

近代仙台研究会 特別講演 第6回発表会



竣工当時の似島臨時陸軍検疫所(広島県)

演題

「後藤新平と仙台、いのちを衛る都市計画 ～明治の感染症検疫をひもとく～」

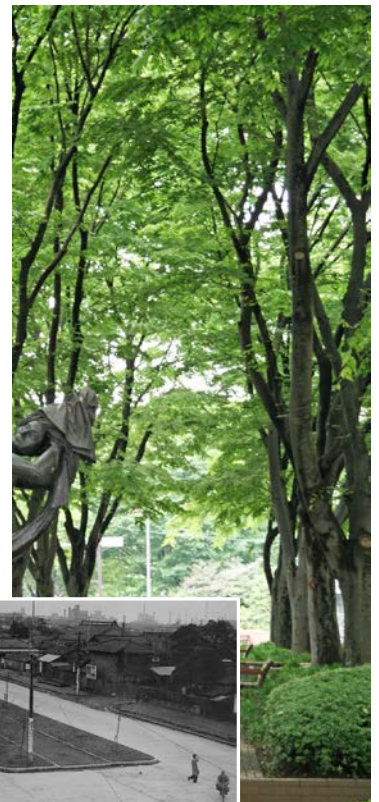
◆コロナ禍の中ですが、126年前、日清戦争後(明治28年・1895)の帰還兵を水際で検疫し感染症対策に取り組み、仙台の街づくりにも影響を与えた後藤新平を取り上げた講演を行います。



水蒸気消毒汽缶を用いた消毒作業



後藤新平 38歳頃 1857～1929
水沢出身、医師・官僚・政治家。台湾民政長官、南満州鉄道総裁、通信・内務・外務大臣。東京市長。



復興間もない定禅寺通(仙台市民会館前) | 定禅寺通

写真 『広報おうしゅう』平成2年11月号
仙台市戦災復興記念館蔵

日時 2021年(令和3年) **2月20日(土)**
午後1:30～2:30 (1:00開場)
(総会・発表会はありません。)

場所 東北工業大学一番町ロビー
2Fホール(青葉区一番町1-3-1)



資料代 無料(講演のレジメ資料)
参加 会員のみ20名(申込み要)
(会場の3密を防ぐため)

お願い>コロナ禍の中なので、マスク着用、自宅検温を行ってご参加下さい(発熱・風邪症状はご遠慮願います)。新型コロナウイルスの感染状況により変更があるかも知れませんので、ご了承下さい。



◆講師
奥州市立後藤新平記念館
学芸調査員 中村 淑子氏



近代仙台研究会

問合せ Tel. 090-4633-9570 斎藤
メール koukogen@ab.auone-net.jp
HP <http://kindaisendai.com/>